地上デジタル防水テレビ 15型

WMA-115-F 設置説明書

Ver1.00

この度は地上デジタル防水テレビをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本設置説明書では地上デジタル防水テレビ本体への付属品の取り付け、設置方法を示しております。製品をご使用の前に本設置説明書ならびに取扱説明書をお読みになり内容をよくご理解のうえ、必ず注意事項をお守りください。

⚠ 設置上のご注意

6mのアンテナ同軸ケーブルを用い設置を行う場合、ほかのAC電源と絡み合わないように（少なくとも30cm以上離して）設置してください。

■付属部品の確認

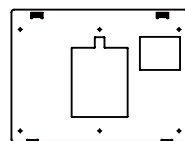
●梱包内には下記の付属部品が入っています。工事の前に確認してください。

①テレビ本体

②専用同軸ケーブル

③電源ケーブル

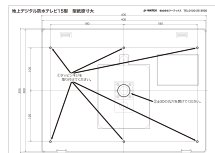
④電源ボックス
(固定用ビス：4本)
M4×16

⑤設置板

⑥保証書

⑦フリーダイヤルシール

⑧取扱説明書

⑨設置説明書

⑩取付型紙

No	部品名	個数
①	テレビ本体	1
②	専用同軸ケーブル	1
③	電源ケーブル	1
④	電源ボックス(含固定用ビス：4本)	1
⑤	設置板	1
⑥	保証書	1
⑦	フリーダイヤルシール	1
⑧	取扱説明書	1
⑨	設置説明書(本書)	1
⑩	取付型紙	1
⑪	リモコン一式	1
⑫	設置板用ビス(M4×25)	6
⑬	ビスカバー	2
⑭	六角穴付きタッピングビス	2
⑮	六角レンチ棒	1
⑯	防水スポンジ	1

⑪リモコン一式

●リモコン本体

●リモコンホルダー

●コイン型リチウム電池
(CR2025)

●リモコン用工具

●リモコンホルダー用
両面テープ：2枚

●リモコンホルダー用
ビスM3×18：2本

⑫設置板用ビス M4×25：6本

⑬ビスカバー：2個

⑭六角穴付きタッピングビス M4×10：2本
(ビスカバー用)

⑮六角レンチ棒

⑯防水スポンジ

製造・販売元　株式会社ワーテックス

〒373−0015　群馬県太田市東新町32番　株式会社ワーテックス　お客様サポートセンター

TEL 0120−25−3930 (フリーダイヤル)　　FAX 0276−25−8641

URL http://www.watex-net.com　E-mail support@watex-net.com

⚠注意

禁止	**強い衝撃を与えたり、落下させたりしないでください。** ※動作・外観が正常な場合でも内部の止水構造が壊れている可能性があります。
必ず実行	**施工は設置説明書にしたがって確実に行ってください。**（感電、火災、水漏れの原因になります。） ※この設置説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障が生じた場合は商品の保証をしかねますのでご注意ください。
必ず実行	**漏電遮断器が取り付けられていることを確認してください。** もし取り付けられていなければ電気工事店へ依頼して必ず取り付けてください。感電する恐れがあります。
アース線接続	**電気工事は、関連する法令・法規にしたがって、必ず『有資格者 (電気工事士)』が行ってください。** 接続や固定が不完全な場合は、火災や漏電の恐れがあります。

設置上のご注意

浴槽の中からモニターを正面に見ることのできる位置に取り付けてください。

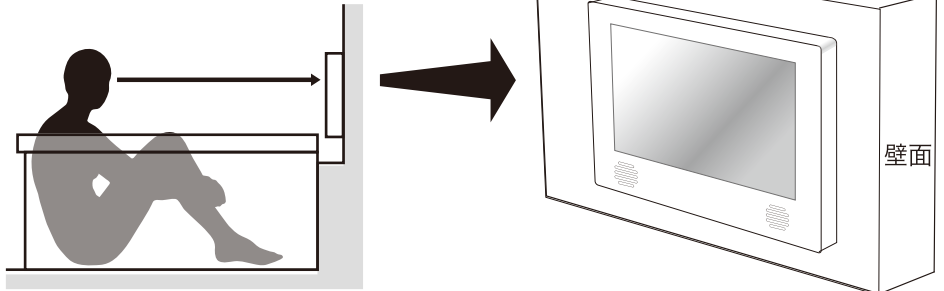
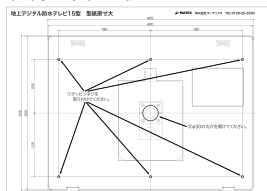
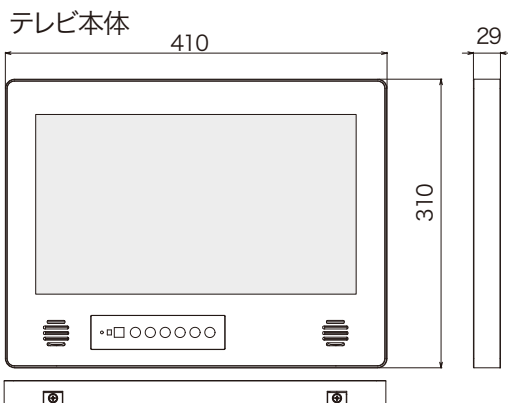
※設置位置が視線より高すぎる場合、一部映像が見えにくくなることがあります。

※取り付ける際、付属の取付型紙(実寸)を合わせてご利用ください。

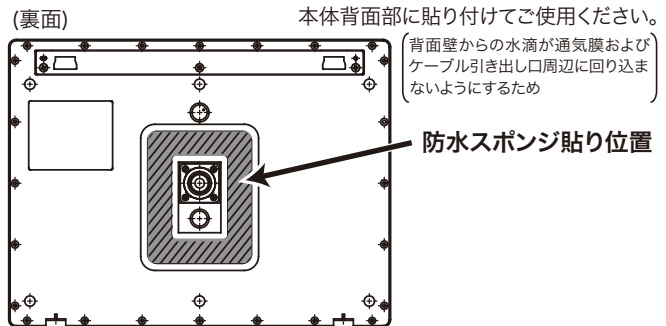
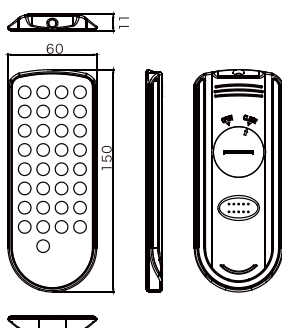
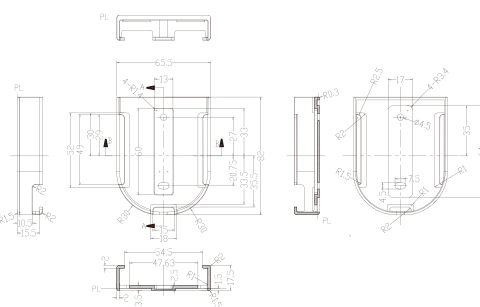
※本体下からビスを固定するための空間を確保できる位置に設置してください。

付属の取付型紙

外形寸法図

テレビ本体

●防水スポンジの使い方について

本体背面部に貼り付けてご使用ください。

(裏面)

リモコン本体

リモコンホルダー

■防水テレビシステム図・配線図

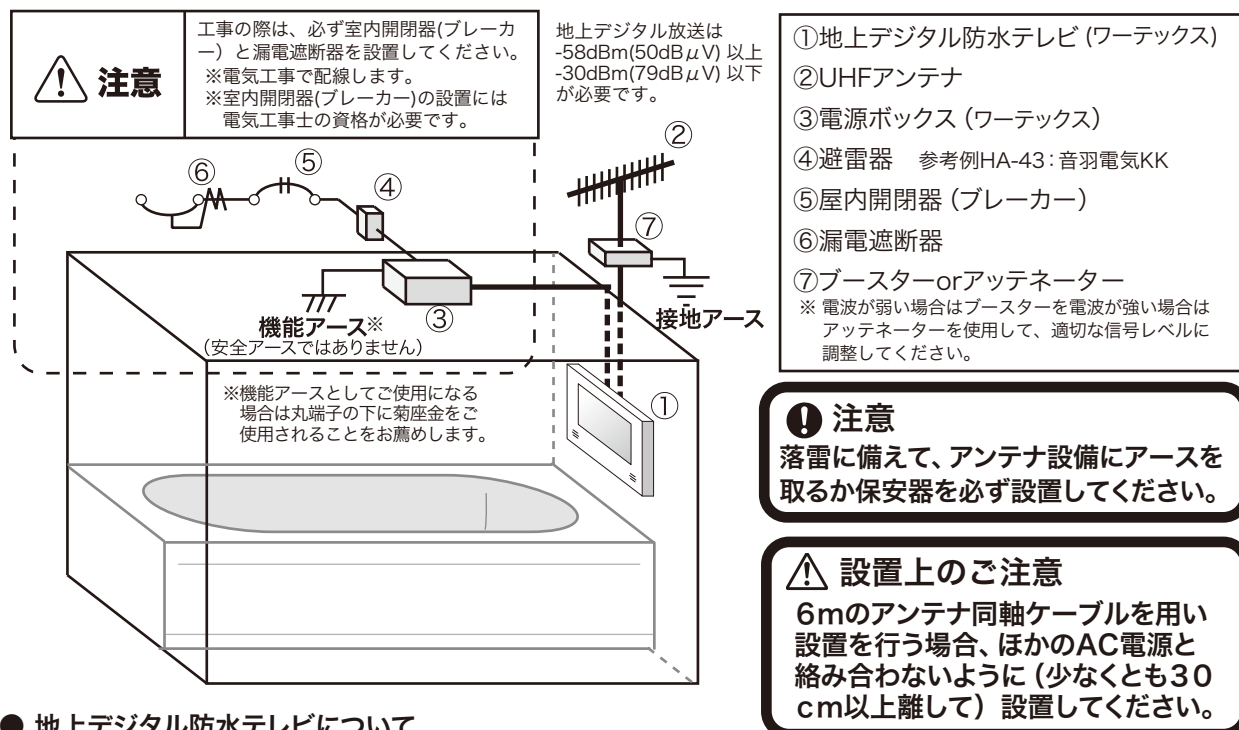
防水テレビシステム図（推奨施工図 ）

①地上デジタル防水テレビ (ワーテックス)
②UHFアンテナ
③電源ボックス (ワーテックス)
④避雷器　参考例HA-43：音羽電気KK
⑤屋内開閉器 (ブレーカー)
⑥漏電遮断器
⑦ブースターorアッテネーター
※ 電波が弱い場合はブースターを電波が強い場合はアッテネーターを使用して、適切な信号レベルに調整してください。

注意

落雷に備えて、アンテナ設備にアースを取るか保安器を必ず設置してください。

設置上のご注意

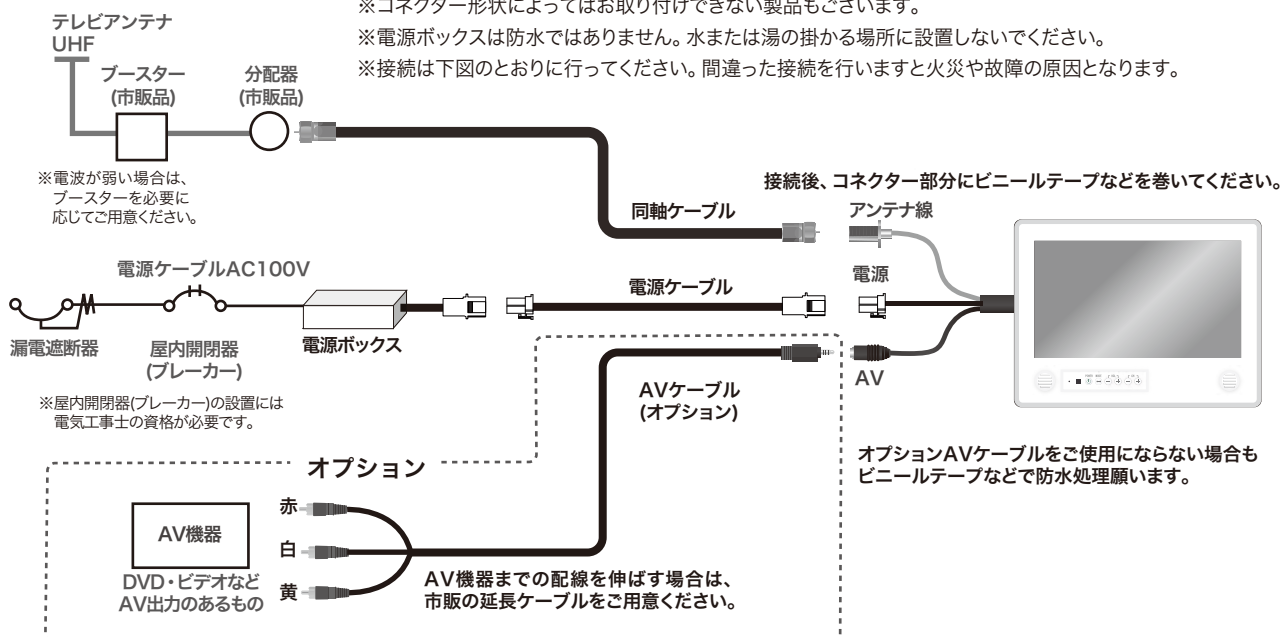
6mのアンテナ同軸ケーブルを用い設置を行う場合、ほかのAC電源と絡み合わないように (少なくとも30cm以上離して) 設置してください。

● 地上デジタル防水テレビについて

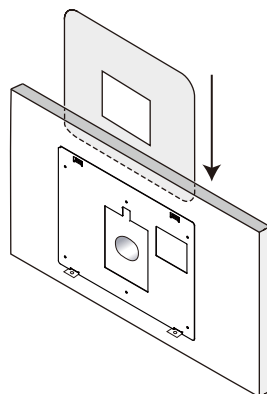
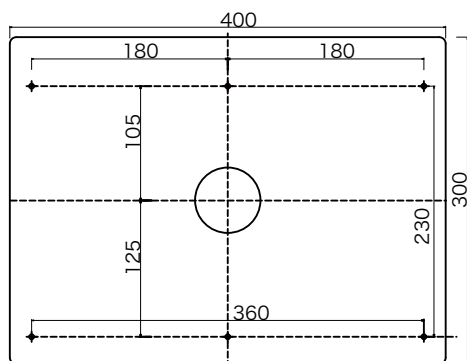
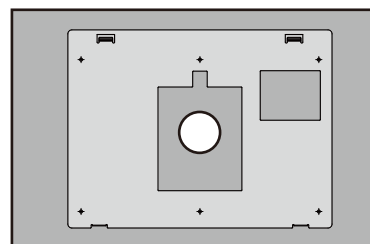
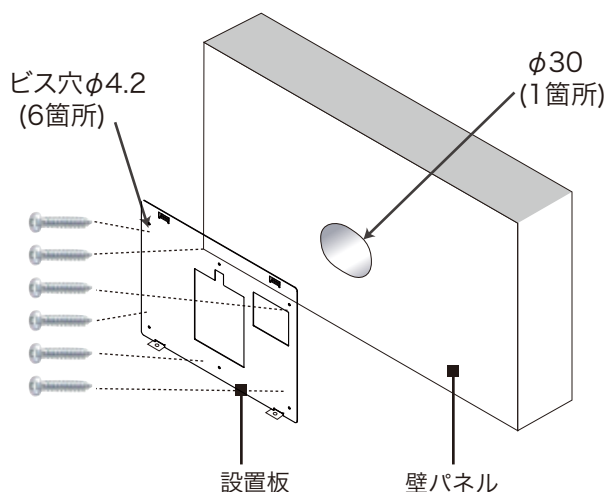
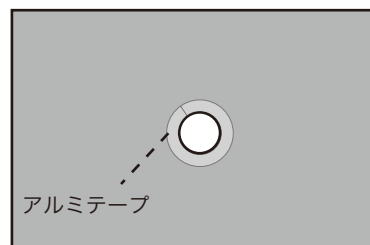
・ 地上デジタル放送の受信には、地上デジタル放送対応のＵＨＦアンテナを使用します。現在お使いのアンテナのご確認をお願いします。
・ 地上デジタル放送に対応したアンテナ線、ブースター、混合器などが必要になる場合があります。
・ 放送エリア内であっても、地形やビルなどにより電波が遮られ、視聴できない場合があります。
・ ＣＡＴＶについて、本機で受信できる方式は「ＣＡＴＶパススルー (全帯域対応) 」となっています。トランスモジュレーション方式には対応していません。

防水テレビ配線図

◆家庭のアンテナ線・室内アンテナを取り付けるには

Fジャック部に家庭アンテナ線または室内アンテナの端子を接続してください 。

※室内アンテナを接続の場合には、室内アンテナ付属の取扱説明書を必ずお読みの上お取り付けください。
※コネクター形状によってはお取り付けできない製品もございます。
※電源ボックスは防水ではありません。水または湯の掛かる場所に設置しないでください。
※接続は下図のとおりに行ってください。間違った接続を行いますと火災や故障の原因となります。

※壁パネル裏面への補強板の貼り付け

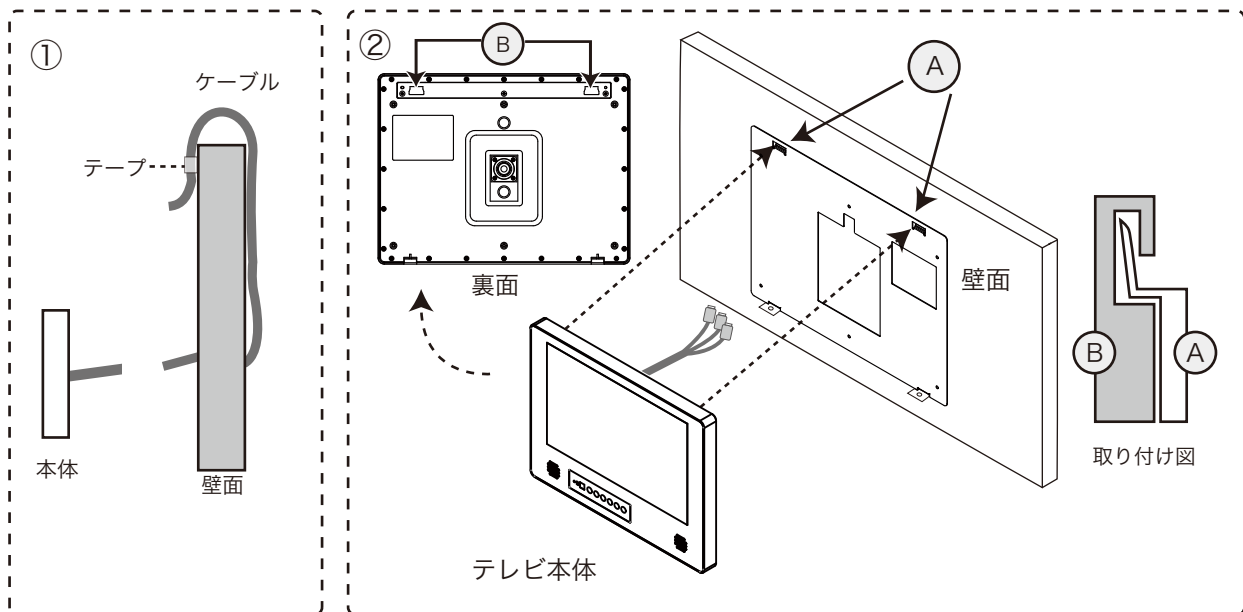
・壁が薄くて補強が必要な場合は下図のような鉄板をご用意ください。
取り付けは付属のステンレスの設置板とあわせて取り付けてください。
・穴の大きさはφ2.6～φ3.0です。

1：防水テレビ設置板設置

正面から見た図

裏面から見た図

① 付属の取付型紙を使用し、取り付ける壁に取り付け穴位置をけがいてください。
② φ4.2穴(6箇所）とφ30穴(1箇所)をあけてください。
③ 設置板用ビス M4×25 (6箇所)を使用して、壁に設置板を取り付けてください。(ビス穴φ4.2×6箇所)

・ケーブル類を傷つけないよう、壁裏面小口に表面から見えないようにアルミテープを貼ってください。

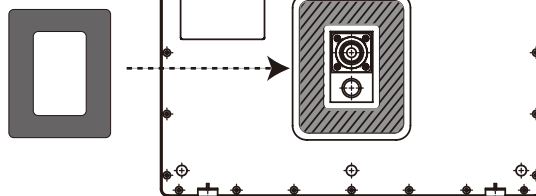
注意

設置板の端は鋭くなっていますので、取り付ける際には手袋をご使用ください。

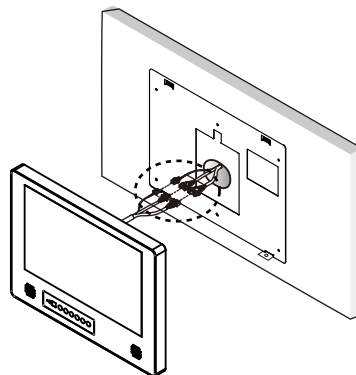
2: 防水テレビ本体設置

①コード類を丸穴から通し、反対側を壁パネル上側から内側に向け、落ちないようテープで固定してください 。
②設置板のA部分にテレビ裏面のB部分をしっかりと引っ掛けて設置してください 。
※ケーブルを引っ張ったり、押し込んだりしないでください。

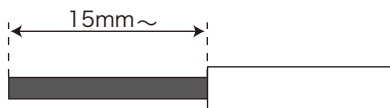
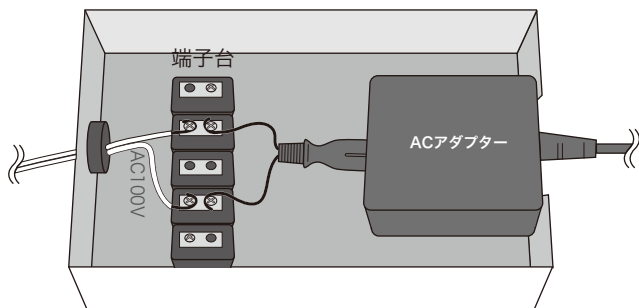
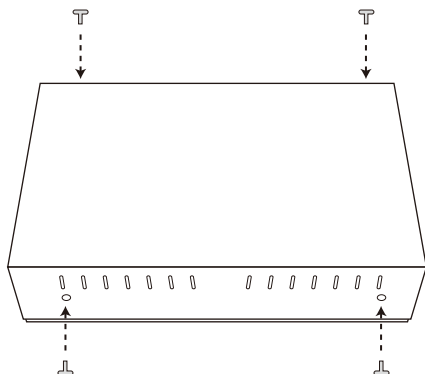
●防水スポンジの使い方について

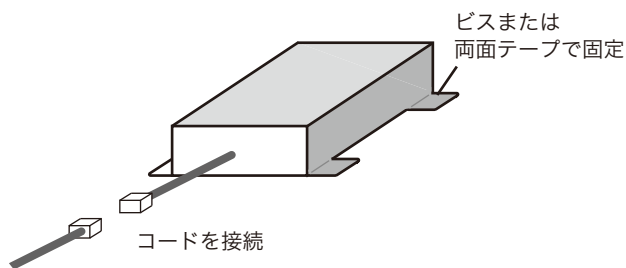
本体背面中央部に貼り付けてご使用ください。

背面壁からの水滴が通気膜および
ケーブル引き出し口周辺に回り込
まないようにするため

⚠注意

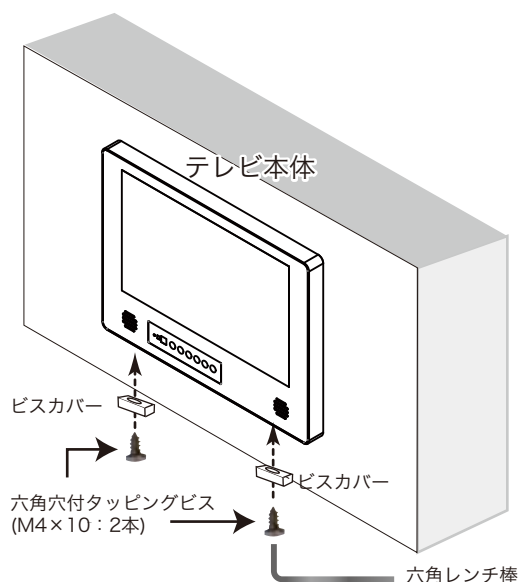
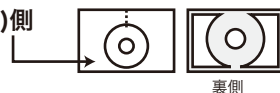
コネクターについて

コネクターは防水ではありません。水のかかる所、
湿度の高い場所では自己融着テープを巻き防水対策
をしてください。

3: 電源ケーブルの接続

電源ボックスの端子に電源（VVF）ケーブルを接続してください。ただし、この工事には **電気工事士の資格が必要** ですので、電気工事店様に依頼する場合は、この設置説明書を浴室テレビ近くのよく見える場所に置いてください。

①電源(VVF)ケーブルの皮膜を左図のようにはがします。
※推薦径φ1.6～2.0mm

②電源ボックスの蓋を開け、電源(VVF)ケーブルを端子台のAC100V 入力側に取り付けます。

③電源ボックスの蓋を閉め、付属のビス(４ヶ所)で固定してください。

4: 電源ボックスの設置

①天井パネルに取り付ける際、コード類を天井裏面に落ちないようテープで固定してください。
②電源ボックス付属の電源コードと配線した電源コードを接続してください。
③電源ボックスをビスまたは両面テープで固定してください。

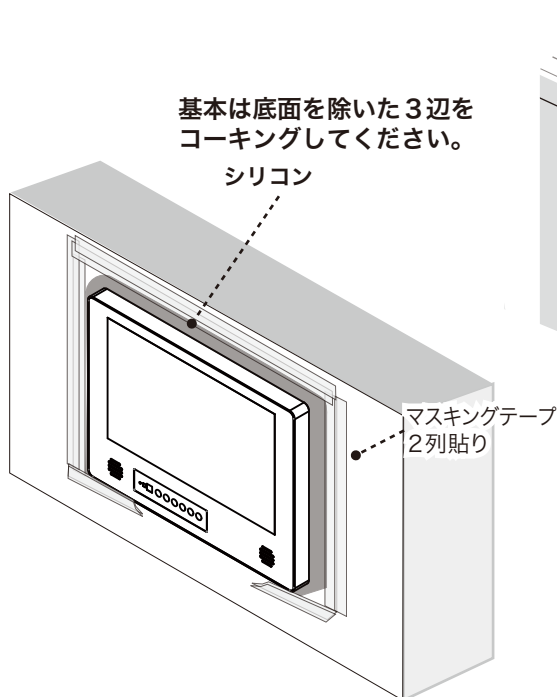
・電源ボックスは必ず天井点検口から点検できる位置に設置してください。
・両面テープで貼り付ける際、貼り付ける面をあらかじめ清掃してください。
　推奨両面テープ：住友スリーエム VHB(Y-4825シリーズなど)
・設置完了後に、電源ボックスに断熱材などをかぶせないでください。

5: 防水テレビの固定方法

① テレビ底面にビスカバーをして、六角穴付タッピングビス(M4×10)2本を六角レンチで2箇所、固定してください。

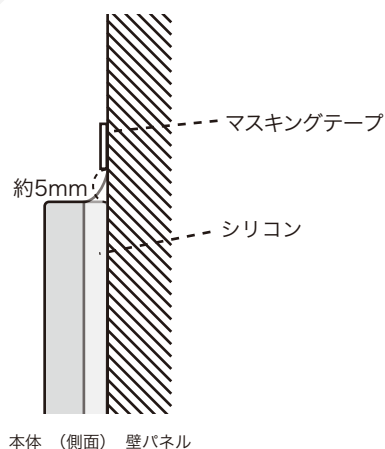
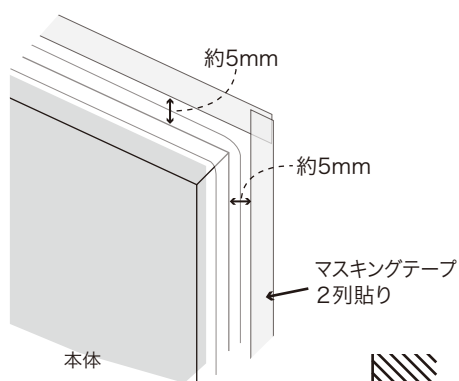
約5mm

約5mm

マスキングテープ
2列貼り

本体

基本は底面を除いた３辺を
コーキングしてください。

シリコン

マスキングテープ
2列貼り

マスキングテープ

約5mm

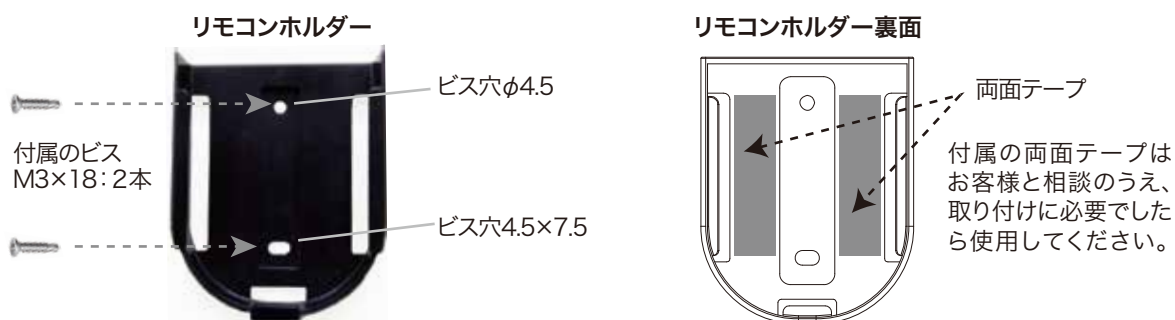
シリコン

底面もコーキングする場合は
底面の両サイドを約１０mmずつ残してコーキングしてください。
（背面部に水が貯まらないようにするため）

本体　（側面）　壁パネル

② 壁パネルに本体と約５mmの間隔を空け、マスキングテープを貼ってください。

③ テレビ本体の周りに指定のとおりシリコンを塗布してください。
指定のとおりに塗布されていないと、テレビ裏面に水気が侵入し故障や漏水の原因となります。

6: リモコンホルダーの設置

① リモコンのホルダーの取り付け位置を決定してください。

- 取り付け位置はお客様と相談のうえ、決定してください。
- 日光が直接当たる場所、暖房機の風が直接当たるような場所、シャワーや水が直接かかるような場所には設置しないでください。

② リモコンのホルダーを付属のビス２本で壁面に固定してください。
※ビス穴にはシリコンを充填してください。

7: 試運転を行う

●取扱説明書の内容に基づいて試運転を行い、正常に動作することを確認のうえ、お客様にお引き渡しください。

① 屋内開閉器(ブレーカー)を「入」にしてください。
② 本体電源ボタンを押し、「B-CASカード使用許諾契約約款」同意画面が表示されることを確認してください。
③ 取扱説明書のP.10「B-CASカードの使用許諾について」に従い、同意設定を行ってください。
④ 設定が終了し、地上デジタル放送が受信できていることを確認してください。（取扱説明書 P.13 参照）
⑤ 音量ボタンの【+】【−】を押し、音量が調節できることを確認してください。
⑥ チャンネルボタンの【+】【−】を押し、チャンネルの切り換えができることを確認してください。
⑦ 本体電源ボタンをもう一度押し、電源を切ってください。
⑧リモコンの電源ボタンを押し、電源が入ることを確認してください。
⑨リモコンの電源ボタンをもう一度押し、電源を切ってください。
⑩ 外部入力機器（※オプション取り付けを行った場合のみ）の確認
本体電源ボタンを押し、【MODE】ボタンを押して、「テレビ」→「ビデオ」に入力を切り換えます。
《リモコンの場合》【外部切換】ボタンを押して、「テレビ」→「ビデオ」に入力を切り換えます。
「ビデオ」（外部入力）の画面になりましたら、接続した機器の電源を入れてください。音声と映像が正しく入力されているか確認してください。入力切換を押し、地上デジタル放送の画面を表示してください。接続した機器の電源と、テレビの電源を切ってください。

●試運転が終了したら

本製品をお客様にお引き渡しになるまでに時間を要する場合は、試運転終了後、リモコンの電池を抜いてください。
抜かないで長期間放置しますと、液漏れが発生し、故障の原因になります。

●お客様へのお引き渡しについて

・お客様にお引き渡しになる際に必ず下記の項目を行ってください。
①「安全上の注意」「使い方」「操作方法」などの使用方法を説明してください。
② B-CASカードが内蔵されていることや使用許諾契約約款への同意が必要なことを説明してください。
③ 保証書に必要事項を記入してください。
④ 取扱説明書を必ずお客様にお渡しください。
⑤ お客様サポートセンターのフリーダイヤルシールをお客様へお渡しください。